
資 料

エジプトの1996年人口センサス報告
— 速報結果 —

店 田 廣 文

Preliminary Report on 1996 Egyptian Population Census

Hirofumi Tanada

Abstract

This report presents the preliminary analysis of Egyptian "General Population, Housing and Establishment Census 1996 (preliminary results)".

The reports on the following items are presented in this paper; 1. total population, 2. population increase, 3. sex ratio, 4. regional population by governorate, 5. population of cities.

This paper concludes tentatively that the rate of population increase is going downward and the pattern of urbanization is changing.

I. はじめに

本稿は、エジプトの人口について、最新の1996年人口センサスの速報結果をふまえて近年の動向を報告するものである。

1976年、1986年、1996年の3回の人口センサス・データを参照すると、年平均増加率2～3%という人口増加が観察されたものの、それまで上昇しつづけた都市化率はほぼ横ばいとなり、全体社会の新たな変動の兆しがみられるようになった。一方で、全国的な流動性の昂進と人口移動構造の変化を観察することができる。1976年から1986年の人口移動データを分析すると、直前移動人口はこの10年間で倍増し、移動率も50%近い上昇を見た。^{注1}

現時点では、1996年の人口センサス詳細結果や人口移動データは未発表であるが、速報結果にもとづいて変動が顕著であるエジプトの人口概況を全国の人口および各都市の人口について以下では報告する。

II. 全国の人口

(1) 人口総数

1997年6月に、エジプトの中央動員統計局(CAPMAS)は1996年人口センサスの速報結果を発表した。それによると、全人口は6145万人(海外居住人口を含む)となり、19世紀初頭の246万人から約25倍に増加した。

国内の総人口は、59,272,382人、推計海外居住

エジプトの1996年人口センサス報告

人口は218万人と報告されている。

(2) 人口増加

1986年からの10年間に海外居住をふくめた全人口は10,997,333人増加し、年平均増加率は1.99%であった。エジプトの人口変遷を1800年から追ってみたのが、第1表である。近年に焦点を絞ると、年平均増加率はおよそ3%から2%にまで

減少したことがみてとれる。また将来人口推計の高位推計を参照しても、年平均増加率は1.5%になろうと報告されている。そして合計特殊出生率(一人の女子が生涯に生む平均子供数)は、1980年の5.3から1993年には3.6へと低下しているのである。しかし、エジプトの絶対人口量そのものは、2020年頃には8400万人～9200万人(低位推計～高位推計)という規模に達するとみられている。^{注2}

第1表 全人口 1800～1996年

西暦	全人口* (人)	期間増加率 (%)	年平均増加率 (%)	全人口** (人)	年平均増加率 (%)	都市人口率 (%)
1800	2,460,200			***	***	***
1821	2,536,400	3.1	0.15	***	***	***
1846	4,476,440	76.5	2.30	***	***	***
1873	5,250,000	17.3	0.59	***	***	***
1882	6,804,021	29.6	2.92	***	***	***
1897	9,714,525	42.8	1.71	***	***	***
1907	11,287,359	16.2	1.51	***	***	19
1917	12,750,981	13.0	1.23	***	***	21
1927	14,217,864	11.5	1.09	***	***	26
1937	15,932,694	12.1	1.15	***	***	28
1947	19,021,840	19.4	1.79	***	***	33
1960	26,085,326	37.1	2.46	***	***	37
1966	30,075,858	15.3	2.40	***	***	40
1976	36,626,204	21.8	1.99	38,198,204	2.42	44
1986	48,205,049	31.6	2.79	50,455,049	2.82	44
1996	59,272,382	23.0	2.09	61,452,382	1.99	43

注：* 海外居住人口を除く全人口

** 海外居住人口を含む全人口

*** 不詳

なお1800年から1882年までの人口データの信頼性は低いと言われている。

資料：CAPMAS (中央動員統計局) ,*General Population, Housing and Establishment Census 1996 (Arabic)*, Cairo,n.d.

CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1986, Preliminary results*, Cairo,1987.

CAPMAS, *Population and Development (Arabic)*, Cairo,1978.

Ministere des Finances et de l'Economie, *Annuaire Statistique, 1951-1952, 1952-1953, et 1953-1954*, Cairo, 1956

以上の資料に基づき、筆者作成。

(3) 人口性比と年齢区分

1996年の男女別人口（海外居住人口を除く）は、男30,330,804人、女28,941,578人であり、性比は105である。

5段階の年齢区分別人口は、6歳未満人口が15.1%、6～10歳未満人口が9.2%、10～15歳未満人口が10.7%、15～60歳未満人口が59.9%、60歳以上人口が5.1%である（男女別の年齢別人口は現在のところ未発表）。

III. 県別・地方別人口

(1) 各県別人口ランク

第2表は、全国人口について1986年と1996年の県別人口をその規模順に示したものである。県別データをみると、人口規模のランクには、大き

な変動はないものの、若干の順位の入替わりは観察される。とりわけ南部のアシュート県は相対的にランクアップしている。

県別の構成比率については、別稿で指摘したように、最大の人口を抱えるカイロ県は1976年からその比率は減少に転じ、一方で隣接のギーザ県やカリュービーヤ県は増加を続けており、人口は大都市圏の中心部から周辺部への集積に変化してきたことがうかがわれた。エジプト第2の大都市を擁するアレクサンドリア県と隣接のブハイラ県は、1986年から減少に転じた。その他の地方の県別構成比率については、エジプト南部やスエズ運河地方の諸県の多くが1986年から横ばいまたは僅かながら増加に転じたことがあげられる。全国的にみると、大都市を擁する県への人口の集中は一時の勢いを失ってきている。^{注3}

第2表 県別人口規模の順位、1986/1996年

県番号	県名	略号	1986年人口(人)	県番号	1996年人口(人)
1	カイロ	CA	6,007,280	1	6,789,479
2	ギーザ	GZ	3,682,825	2	4,779,865
8	ダカハリヤ	DH	3,493,206	16	4,287,848
16	シャルキーヤ	SQ	3,411,424	8	4,223,655
5	ブハイラ	BH	3,250,729	5	3,981,209
4	アレクサンドリア	AL	2,896,459	9	3,404,827
9	ガルビーヤ	GB	2,862,980	4	3,328,196
19	ミニヤ	MN	2,641,036	19	3,308,875
3	カリュービーヤ	QL	2,507,788	3	3,302,860
23	スハーグ	SG	2,448,880	23	3,123,000
24	ケナ	QN	2,245,392	21	2,802,185
6	メヌーフイーヤ	MF	2,223,034	24	2,801,923
21	アシュート	AS	2,206,415	6	2,758,499
7	カフル・シェイフ	KS	1,795,749	7	2,222,920
20	ファイユーム	FY	1,542,258	20	1,989,881
18	ベニ・スエフ	BS	1,438,919	18	1,860,180
25	アスワン	AW	793,379	25	973,671
10	ダミエッタ	DM	739,846	10	914,614
14	イスマイリア	IS	541,223	14	715,009
13	ポート・サイド	PS	393,841	13	469,533
15	スエズ	SZ	324,852	15	417,610
11	北シナイ	NS	169,648	11	252,750
17	マトルーフ	MT	157,119	17	211,866
22	ワディ・ギディーダ	WG	111,142	26	155,695
26	バフル・アフマル	BA	84,916	22	141,737
12	南シナイ	SS	24,925	12	54,495
	全人口		47,995,265		59,272,382

資料：CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1996(Arabic)*, Cairo, n.d.
CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1986, Sample results*, Cairo, 1989.

以上の資料に基づき、筆者作成。96年のルクソール県はケナ県に含めた。

(2) 人口増加率ランク

第3表では各県の1986～96年の年平均増加率をランク順に捉えてみた。全人口の増加率と比較すると、18県でそれを超える増加率であることがわかる。増加率が上位にある諸県では、人口の社会増を予想することができる。上位には、観光開発や鉱物資源開発などが盛んに行われている辺境県のシナイ、バフル・アフマル、マトルーフが並んでいる。増加率が全人口増加率を超えるものの相対的には下位ランクにあるエジプト南部諸県などでは人口の自然増加率そのものが高いことも考えられる。

年で比較したものである。全人口の性比は1ポイント増加した。ほとんどの県では僅かの変動しか観察できないが、南シナイ県(125→162)、マトルーフ県(103→110)およびバフル・アフマル県(111→134)では相対的に大きな変動がある。これら諸県は、いずれも辺境県と言われる人口過疎県であるが、近年では観光開発や鉱物資源開発などにもなう労働力移動としての男子単身移動が多いものと考えられる。同じく辺境県である北シナイ県は人口性比が全人口と同レベルだが、第3表で見たように人口増加は著しい。ここでは、挙家型移動が多くなってきたことが考えられる。

第3表 県別の人口増加率ランク、1986/96年

県番号	県名	年平均増加率(%)
12	南シナイ	8.14
26	バフル・アフマル	6.25
11	北シナイ	4.07
17	マトルーフ	3.03
14	イスマイリア	2.82
3	カリュービーヤ	2.79
2	ギーザ	2.64
18	ベニ・スエフ	2.60
20	ファイユーム	2.58
15	スエズ	2.54
22	ワディ・ギディーダ	2.46
23	スハーグ	2.46
21	アシュート	2.42
16	シャルキーヤ	2.31
19	ミニヤ	2.28
24	ケナ	2.24
6	メヌーフィーヤ	2.18
7	カフル・シェイフ	2.16
10	ダミエッタ	2.14
25	アスワン	2.07
5	ブハイラ	2.05
8	ダカハリヤ	1.92
13	ポート・サイド	1.77
9	ガルビーヤ	1.75
4	アレクサンドリア	1.40
1	カイロ	1.23
	全人口	2.13

資料：第2表に同じ。

(3) 各県の人口性比

第4表は、県別の人口性比を、1986年と1996

第4表 各県別の人口性比、1986/1996年
(男/女×100)

県番号	県名	1986年	1996年
1	カイロ	105	105
2	ギーザ	106	107
3	カリュービーヤ	107	107
4	アレクサンドリア	105	105
5	ブハイラ	103	104
6	メヌーフィーヤ	106	106
7	カフル・シェイフ	101	101
8	ダカハリヤ	104	104
9	ガルビーヤ	102	102
10	ダミエッタ	105	105
11	北シナイ	105	104
12	南シナイ	125	162
13	ポート・サイド	105	105
14	イスマイリア	104	104
15	スエズ	107	105
16	シャルキーヤ	105	106
17	マトルーフ	103	110
18	ベニ・スエフ	103	104
19	ミニヤ	104	104
20	ファイユーム	108	107
21	アシュート	107	105
22	ワディ・ギディーダ	102	107
23	スハーグ	104	104
24	ケナ	102	102
25	アスワン	100	101
26	バフル・アフマル	111	134
	全人口	104	105

資料：第2表に同じ。

IV. 都市の人口

(1) エジプトの全都市の人口変動

— 1966年～1996年 —

エジプトには現在174都市が存在する。^{注4} 1976年には150都市、1986年には168都市であった。人口規模別の都市数は、第5表のようである。大都市としては、首都カイロ（人口679万人）とアレクサンドリア（333万人）、そしてカイロ隣接の

ギーザ（222万人）とショブラ・ヘーマ（87万人）があり、中都市群（人口10万～50万人）の多くには、各県の中心都市が含まれている。都市の数の点では、人口10万人未満の小都市群が大半を占めている。

さて都市化率は、前出の第1表に示したように

第5表 人口規模別の都市数、1996年

都市の 人口規模	50万以上	30万～ 50万未満	10万～ 30万未満	5万～ 10万未満	2万～5万 未満	2万未満	合 計
都市数	4	7	20	51	67	25	174

資料：第2表に同じ。

1907年の19%から1976年の44%まで一貫して上昇してきたが、それ以降には横ばいへと転換しているのである。このような近年の変化は、エジプト社会の流動化がおさまってきたことによるというよりも、1970年代から顕著になった国際的な出稼ぎ移動の増加や、これを一因とする国内における人口流動化のあらたな動向による社会変動が反映しているものと見なすことができる。^{注5}

第6表には、このような変化のなかにあるエジプトの全都市について、地方別に、1966年から1996年までの人口センサスによる全都市に関する人口量ないしセンサス期間ごとの増加率、1986年から1996年については年平均増加率も提示している。^{注6} 年平均増加率の欄の数字が斜体の太字で示された都市は、全人口増加率よりも高い率を示しており、社会増が予想される都市である。これら都市は各地方に分散して立地しており、また規模の面では、全国的には相対的に小都市に多く見られる。アシュート地方や上エジプト南部地方など、遠隔地方の中都市や小都市にも増加率の高い都市が存在している。

(2) 人口増加率の高い都市・低い都市

第7表には、1986～1996年の各都市の年平均増加率について高低それぞれのランク20位まで再掲してみた。増加率の高い都市の上位グループには、オクトーバー 6、サーダート、ア－シャラ・ミン・ラマザーンなど、首都カイロ周辺に建設されたニュータウンが含まれている。これらニュー

タウンに、徐々にではあるが人口が定着しつつあることを示しているようだ。南部の観光都市ルクソールも上位にあるが、1996年人口センサスでは、新たに「観光都市」という行政区域名称が与えられており、市域の組み替えも行われたようである。そのことによって、人口が急増したと考えられる。増加率の低い都市には、大都市カイロをはじめ、県の中心都市やその他の中都市が多くあげられている。

以上まとめてきたように、エジプトの人口は増加率が低くなりつつあるものの、絶対人口数は依然として大きな増加を続けている。この中で、大都市を抱える諸県の人口増加は、一時の勢いを失いつつあり、南部地方や辺境県での人口増加が目立つようになってきている。都市人口率は全体としては横ばいであるが、半数近い都市では社会増が予想されるような増加率である。ただし、これら都市の大多数は小都市であり、大都市や中都市は増加率が低いほうに属している。大都市中心の都市化は、今のところ終息しつつあるようである。本稿は人口センサス報告の速報結果について予備的分析を加えたものであり、詳細な分析については稿を改めたい。^{注7}

^{注1} 拙著『エジプトの都市社会』早稲田大学出版部、1999年12月、および拙稿「エジプトの人口移動と社会変動」（『人間科学研究』第6巻第1号、1993年3月）を参照。

エジプトの1996年人口センサス報告

注² Makhlof, et. al, *Population Projections for Socioeconomic Development in Egypt*, Cairo Demographic Center, 1994.

注³ 拙稿「エジプトの人口変動と都市化— 1966～96年における諸都市の発展—」『現代の中東』27号、1999年9月。

注⁴ ただし、辺境4県（マトルーフ、南・北シナイ、ワディ・ギディーダ、バフル・アフマル）については県内都市人口をまとめて、それぞれ1都市とした。

注⁵ (注1) の文献を参照。

注⁶ 1966年と1976年の各都市については、以下の拙稿を参照されたい。「エジプト地方都市の発展と

人口移動— 1966年～1976年の動向を中心に—」（『社会科学討究』第91号、1986年）。

注⁷ 1882年から1917年の人口センサスによるエジプトの都市人口については、以下の拙著を参照。Hirofumi Tanada, *Demographic Change in Rural Egypt, 1882～1917 — Population of Mudiriya, Markaz and Madina —*, Discussion Paper No. D97-22, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 1998. 1927年から1947年の人口センサスについては、都市人口の一部について別稿で取り上げた。「都市の変容と同胞団の発展」（小杉泰編『ムスリム同胞団 — 研究の課題と展望—』国際大学、1989年）。

第6表 エジプトの全都市、1966～1996年

地方	都市名	県名略号	1996年人口	期間増加率	年平均増加率(%)	1986年人口	期間増加率	期間増加率
			(人)	(%) 96/86年		(人)	(%) 86/76年	(%) 76/66年
カイロ地方	カイロ	CA	6,789,479	12.2	1.16	6,052,836	19.3	20.5
	ギーザ	GZ	2,221,868	18.8	1.74	1,870,508	52.0	115.8
	ハワームディーヤ	GZ	91,732	25.6	2.30	73,060	52.1	32.8
	アウシーム	GZ	54,033	26.9	2.41	42,577	49.9	
	バドルシーン	GZ	51,183	27.5	2.46	40,159	48.8	46.6
	サッフ	GZ	32,332	37.7	3.25	23,482	36.5	45.3
	アイヤート	GZ	29,441	55.6	4.52	18,916	48.4	37.1
	アブー・ナムーリス	GZ	37,835	49.3	4.09	25,336		
	アトフィーフ	GZ	11,343	-4.3	-0.44	11,858		
	オクトーバー 6	GZ	35,477	6631.9	52.34	527		
	ワハート・バハリヤ	GZ	25,113	26.0	2.34	19,935	41.8	
	ショブラ・ヒーマ	QL	870,716	22.5	2.05	710,794	80.3	117.7
	ベンハ	QL	145,792	26.1	2.35	115,571	30.1	39.4
	カリユーブ	QL	97,157	12.1	1.15	86,684	38.6	27.3
	カナートル・ハイリーヤ	QL	54,599	11.6	1.11	48,909	32.6	58.9
	ハンカ	QL	53,127	32.7	2.87	40,039	25.9	15.3
シェビン・カナートル	QL	48,394	36.2	3.14	35,519	39.3	24.0	
トゥーフ	QL	57,522	22.9	2.08	28,285	39.4	29.9	
カハー	QL	*1			18,512	29.1		
カフル・シャクル	QL	18,660	23.5	2.13	15,107	40.1	24.5	
アレクサンドリア地方	アレクサンドリア	AL	3,328,196	14.1	1.33	2,917,327	25.9	28.7
	カフル・ダッワール	BH	231,978	18.9	1.75	195,102	33.4	286.3
	ダマンフル	BH	212,203	11.2	1.07	190,840	11.8	29.3
	イドクウー	BH	87,802	24.1	2.19	70,729	25.1	
	ハウシュ・イーサー	BH	68,893	28.5	2.54	53,619	39.4	40.8
	ラシード	BH	58,432	12.3	1.17	52,014	32.9	17.0
	ディリンジャート	BH	34,285	23.8	2.16	27,698	39.6	27.6
	アブー・マターミール	BH	35,063	28.9	2.57	27,203	69.8	48.0
	マフムディーヤ	BH	21,712	-12.1	-1.28	24,694	27.8	23.4
	イターイ・バルード	BH	35,483	43.7	3.69	24,693	42.1	45.0
コム・ハマーダ	BH	31,199	27.3	2.44	24,507	51.3	49.4	

	アプー・ハムス	BH	29,018	18.5	1.71	24,481	49.1	17.8
	ラフマーニーヤ	BH	25,435	25.3	2.28	20,304	31.7	
	ショブラ・ヒート	BH	24,361	26.3	2.37	19,281	21.9	37.3
	ワーディー・ナトルーン	BH	13,948	52.1	4.29	9,168	19.6	
	サーダート	BH	16,312	746.5	23.81	1,927		
	ヌーバーリーヤ・ギディーダ	BH	1,084	*2				
	シェビン・コム	MF	159,909	20.5	1.88	132,751	29.1	55.1
	メヌーフ	MF	77,788	11.3	1.08	69,883	26.6	14.2
	アシュムーン	MF	68,783	26.3	2.36	54,450	37.8	22.8
	タラー	MF	43,995	14.0	1.32	38,584	27.4	19.2
	シルス・ラヤーナ	MF	44,265	21.6	1.98	36,399	34.7	
	シュハダー	MF	41,058	18.3	1.70	34,695	34.8	17.3
	クウィスナー	MF	36,486	19.5	1.80	30,520	48.2	40.6
	バージュール	MF	31,296	18.4	1.70	26,432	46.9	19.5
	ビルカ・サバー	MF	28,922	20.6	1.89	23,989	37.3	24.6
	カフル・シェイフ	KS	124,819	21.3	1.95	102,910	32.8	50.4
	ディスク	KS	91,318	16.9	1.57	78,119	33.2	28.7
	ピヤラー	KS	56,727	18.7	1.73	47,781	23.8	17.5
	フワー	KS	54,424	18.3	1.69	46,014	21.7	23.3
	シーディー・サーリム	KS	41,261	30.3	2.68	31,674	27.5	17.6
	バルティーム	KS	33,885	26.0	2.34	26,885	27.8	30.7
	カリーン	KS	29,405	20.9	1.91	24,329	37.8	24.1
	ムトゥービス	KS	24,551	25.9	2.33	19,495	25.5	
	ハームール	KS	39,370	16.1	1.50	33,914		
	マンスーラ	DH	369,631	16.7	1.55	316,870	22.2	34.7
	ミート・ガムル	DH	101,801	9.2	0.88	93,253	29.2	65.4
	マトリーヤ	DH	87,062	16.8	1.56	74,554	21.8	48.8
デ	ビルカース	DH	88,264	20.1	1.85	73,162	45.7	21.9
ル	シンブラーウィン	DH	72,736	20.7	1.90	60,285	22.2	21.2
タ	タルハー	DH	97,682	75.2	5.77	55,757	50.5	57.1
地	マンザラ	DH	61,486	11.6	1.10	55,090	25.8	32.0
方	ディキルニス	DH	85,157	75.0	5.75	48,667	26.6	103.7
	シャルビーン	DH	46,906	16.0	1.49	40,441	27.0	26.3
	アジャー	DH	15,556	11.4	1.08	13,969	4.2	24.5
	ジャマリーヤ	DH	58,664	29.9	2.65	45,157		
	ミニヤ・ナスル	DH	48,858	25.6	2.31	38,887		
	ジャムサー	DH	*3			303		
	タミー・アムディード	DH	11,768	*2				
	ミート・サルシール	DH	29,762	*2				
	マハッラ	GB	395,452	10.2	0.98	358,844	22.8	30.0
	タンター	GB	371,010	10.9	1.04	334,505	18.1	23.8
	ジフター	GB	80,849	17.1	1.59	69,050	36.6	33.1
	カフル・ザイヤート	GB	65,991	13.7	1.29	58,061	28.9	32.6
	サマヌード	GB	47,745	14.6	1.37	41,670	17.7	19.1
	バスユーン	GB	48,216	21.8	1.99	39,581	29.6	39.5
	サンタ	GB	27,185	27.2	2.43	21,376	36.7	28.6
	クトゥール	GB	20,704	25.1	2.27	16,544	40.8	30.4
	ダミヤート	DM	111,111	24.1	2.19	89,498	-4.3	8.4
	ファール・スクール	DM	49,536	69.0	5.39	29,314	30.4	24.0
	カフル・サード	DM	42,120	112.8	7.84	19,793	43.9	45.6
	ザルカー	DM	34,005	172.0	10.53	12,500	30.7	
	ラース・バッル	DM	7,798	44.4	3.74	5,401	115.5	
	イズバ・ボルグ	DM	32,257	6.3	0.61	30,350		
	ダミヤート・ジャディーダ	DM	6,517	13200.0	63.07	49		

エジプトの1996年人口センサス報告

ス エ ズ ・ カ ナ ル 地 方	シナイ	SI	178,466	52.2	4.29	117,238	1009.4	-75.0
	ポート・サイド	PS	469,533	17.4	1.62	399,793	52.2	-7.2
	イスマイリア	IS	254,477	19.7	1.82	212,567	45.7	1.3
	ティル・カビール	IS	43,275	78.3	5.95	24,269	44.5	25.1
	ファアード	IS	15,892	14.9	1.40	13,826	30.8	-11.8
	カンタラ・ガルブ	IS	14,971	69.7	5.43	8,821	861.9	-92.9
	カンタラ・シャルク	IS	12,122	88.9	6.57	6,416	2074.9	-92.9
	スエズ	SZ	417,610	27.8	2.48	326,820	68.5	-26.5
	ザカージーク	SQ	267,351	8.9	0.86	245,496	21.2	34.0
	ビルベイス	SQ	113,608	17.7	1.64	96,540	39.7	19.3
	アブー・カビール	SQ	85,340	22.8	2.07	69,509	26.7	31.4
	ファークース	SQ	56,142	15.5	1.45	48,625	24.4	-3.6
	ミニヤ・カムハ	SQ	55,669	21.4	1.95	45,871	36.5	6.5
	ディールブ・ナジウム	SQ	43,503	35.1	3.05	32,201	49.5	50.0
	ヒフヤー	SQ	36,447	24.2	2.19	29,334	28.8	28.8
	カナヤート	SQ	36,010	23.0	2.09	29,277		
	マシュトゥール・スク	SQ	38,432	33.9	2.96	28,700	28.9	
	イブラーヒーミーヤ	SQ	29,067	18.4	1.71	24,541	32.5	
	アブー・ハマード	SQ	29,503	21.6	1.98	24,256	37.9	29.5
	カフル・サクル	SQ	29,343	52.1	4.28	19,294	40.6	39.4
フセイニーヤ	SQ	24,153	35.5	3.08	17,828	23.9	43.7	
アーシャラ・ミン・ラマザーン	SQ	47,839	461.0	18.82	8,528			
アブール	SQ	*4			1,029			
サーリヒーヤ	SQ	8,133	1012.6	27.24	731			
カリーン	SQ	51,802	*2					
アウラード・サクル	SQ	16,118	*2					
マトルーフ (地方)	MT	112,398	36.3	3.15	82,437	61.5	89.5	
上 エ ジ ブ ト 北 部 地 方	ベニ・スーイフ	BS	172,032	13.3	1.26	151,813	28.8	30.7
	ナーシル	BS	70,534	29.5	2.62	54,482	35.4%	89.6
	ファシュン	BS	52,587	21.3	1.95	43,347	29.2	20.8
	ビバー	BS	49,409	21.5	1.97	40,668	22.6	44.6
	ワースター	BS	30,874	17.0	1.58	26,399	48.9	35.8
	イフナーシヤー	BS	31,486	37.9	3.27	22,829	36.8	16.9
	スムスター	BS	30,715	35.4	3.07	22,693	32.3	16.0
	ベニ・スーイフ・ギディーダ	BS	203	*2				
	ミニヤー	MN	201,360	12.4	1.18	179,136	22.4	30.1
	マッラウィー	MN	119,283	20.4	1.87	99,062	33.5	23.9
	サマルルト	MN	75,449	20.9	1.92	62,404	27.7	27.2
	マジヤージャ	MN	60,395	18.9	1.74	50,807	27.8	22.9
	ベニ・マザール	MN	52,685	9.8	0.94	47,964	21.9	15.6
	フィクリーヤ	MN	50,011	9.6	0.92	45,629	36.2	55.8
	マターイ	MN	36,959	27.5	2.46	28,986	36.8	24.0
	ディール・マワース	MN	33,194	30.1	2.66	25,518	27.1	18.5
	イドウーフ	MN	13,553	37.1	3.20	9,887	37.2	21.3
	ミニヤー・ジャディーダ	MN	68	*2				
	ファイユーム	FY	260,964	22.8	2.07	212,523	27.3	25.0
	シヌーリス	FY	68,425	23.7	2.15	55,323	31.7	20.6
アブシュワイー	FY	41,987	21.9	2.00	34,430	29.4	154.8	
ターミーヤ	FY	38,453	32.9	2.89	28,930	47.1	36.7	
イトサー	FY	37,143	35.0	3.05	27,507	36.4	214.2	
アシュート	AS	343,498	25.7	2.32	273,191	27.8	39.0	
マンファルト	AS	65,007	23.5	2.13	52,644	27.8	20.5	
アブー・ティージュ	AS	59,435	22.0	2.01	48,711	34.7	27.7	
アブヌーブ	AS	56,501	16.5	1.53	48,519	23.0	26.1	

ア シ ユ ー ト 地 方	ディールート	AS	55,452	24.6	2.23	44,498	40.7	14.4
	クーシーヤ	AS	55,948	32.7	2.87	42,175	34.0	20.9
	バダーリー	AS	36,101	3.6	0.35	34,858	23.9	5.8
	ガナーイム	AS	39,145	18.3	1.70	33,087	51.1	
	サーヒル・サリーム	AS	24,116	23.9	2.17	19,457	35.4	
	サドファー	AS	17,856	22.3	2.04	14,596	18.7	46.3
	ナスリーヤ	AS	10,372	56.5	4.58	6,626		
	ワーディー・ジャディード	WG	68,419	35.6	3.09	50,443	46.6	67.7
上 エ ジ プ ト 南 部 地 方	スーハーグ	SG	170,125	27.9	2.50	132,965	29.2	36.1
	ギルガー	SG	95,384	34.5	3.01	70,899	39.1	15.8
	アハミーム	SG	84,778	20.1	1.85	70,602	32.3	18.7
	タフター	SG	73,921	26.3	2.36	58,516	30.5	16.3
	トゥマー	SG	58,306	23.5	2.13	47,223	35.0	19.4
	ミンシャー	SG	50,039	32.4	2.85	37,788	35.2	12.0
	ギヒーナ	SG	39,142	13.8	1.30	34,395	13.1	11.4
	バルヤナー	SG	39,944	19.0	1.75	33,579	28.7	18.3
	マラーガ	SG	31,433	31.5	2.78	23,895	36.0	26.8
	ダール・サラーム	SG	22,979	44.2	3.73	15,934	68.8	-8.5
	サーキルトフ	SG	17,995	29.8	2.64	13,865	26.3	21.3
	ルクソール	QN	360,503	187.3	11.13	125,494	33.7	19.6
	ケナー	QN	137,244	14.6	1.37	119,794	27.9	36.8
	アルマント	QN	65,593	20.0	1.84	54,650	28.8	10.2
	イスナー	QN	57,643	33.9	2.96	43,055	26.1	24.8
	クース	QN	50,033	17.8	1.65	42,467	28.1	20.7
	ディシュナー	QN	45,058	18.6	1.72	37,978	29.8	33.4
	ファルシュート	QN	44,770	35.3	3.07	33,097	21.9	
	ナグア・ハマーディー	QN	34,239	20.2	1.85	28,493	47.0	56.5
	ナカーダ	QN	19,410	23.1	2.10	15,774	17.5	
	アブー・トゥシュト	QN	10,829	29.9	2.65	8,336	47.5	9.5
	カファト	QN	18,430	20.3	1.87	15,317		
	ワクフ	QN	24,031	*2				
	アスワン	AW	219,517	14.7	1.38	191,461	32.4	13.2
	コム・オンボ	AW	62,257	19.4	1.79	52,131	10.6	63.6
イドゥファー	AW	94,228	106.0	7.50	45,737	24.2	27.6	
ダラーウ	AW	31,025	24.9	2.25	24,834			
ナスル・ヌーバ	AW	7,618	52.6	4.32	4,992	-5.7	1184.4	
アブー・シンプル	AW	2,159	136.0	8.96	915	123.7		
バフル・アフマル (地方)	BA	138,571	87.2	6.47	74,010	55.8	149.1	
都市人口、合計 (人)			25,479,325		1.87	21,175,241		
都市人口率 (%)			43			44		
全人口 (海外居住人口除く) (人)			59,272,382		2.09	48,205,049		

(注)：ブランクの欄は、該当都市が各センサス時点で農村部であったことを示す。

*1/この人口数は"トゥーフ"に含まれている。

*2/1996年センサスより、都市部に組み込まれた。

*3/この人口数は"ビルカース"に含まれている。

*4/現時点の1996年センサスの結果では、不詳である。

資料：CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1996(Arabic)*, Cairo, n.d.
 CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1986, cities (Arabic)*, Cairo, 1988.
 CAPMAS, *General Population, Housing and Establishment Census 1986, Preliminary*, Cairo, 1987.
 CAPMAS, *Statistical Index 1976 (Arabic)*, Cairo, 1978.
 CAPMAS, *Population Census by Sample 1966(Arabic)*, Cairo, 1967.
 以上の資料に基づいて、筆者作成。

エジプトの1996年人口センサス報告

第7表 人口増加率の都市別ランク、1986～96年

増加率の高い都市		増加率(%)	増加率の低い都市		増加率(%)
ダミヤート・ジャディーダ	DM	63.07	マフムーディーヤ	BH	-1.28
オクトーバー 6	GZ	52.34	アトフィーフ	GZ	-0.44
サーリヒーヤ	SQ	27.24	バダリー	AS	0.35
サーダート	BH	23.81	イズバ・ボルグ	DM	0.61
アーシャラ・ミン・ラマザーン	SQ	18.82	ザカージーク	SQ	0.86
ルクソール	QN	11.13	ミート・ガムル	DH	0.88
ザルカー	DM	10.53	フィクリーヤ	MN	0.92
アブー・シンプル	AW	8.96	ベニ・マザール	MN	0.94
カフル・サード	DM	7.84	マハッラ	GB	0.98
イドゥフー	AW	7.50	タンター	GB	1.04
カンタラ・シャルク	IS	6.57	ダマンフル	BH	1.07
バフル・アフマル	BA	6.47	メヌーフ	MF	1.08
ティル・カビール	IS	5.95	アジャー	DH	1.08
タルハー	DH	5.77	マンザラ	DH	1.10
ディキルニス	DH	5.75	カナートル・ハイリーヤ	QL	1.11
カンタラ・ガルブ	IS	5.43	カリューブ	QL	1.15
ファール・スクール	DM	5.39	カイロ	CA	1.16
ナースリーヤ	AS	4.58	ラシード	BH	1.17
アイヤート	GZ	4.52	ミニヤー	MN	1.18
ナスル・ヌーバ	AW	4.32	ベニ・スーイフ	BS	1.26

資料：第2表に同じ。